

<細胞像問題>

問題 1 50 歳代、女性。腹部膨満感、腹水。

1. 反応性中皮細胞
2. 類内膜癌
3. 高異型度漿液性癌
4. 成人型顆粒膜細胞腫
5. 悪性中皮腫

問題 2 80 歳代、女性。歯肉潰瘍、ブラシ擦過。

1. エプーリス
2. 口腔結核症
3. 口腔扁平苔癬
4. 放線菌感染症
5. 口腔カンジダ症

問題 3 70 歳代、女性。排尿時痛、自然尿。

1. デコイ細胞
2. カンジダ症
3. クリプトコッカス症
4. 尿路上皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 4 70 歳代、男性。胸水貯留、胸水。

1. 反応性中皮
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. リンパ腫
5. 悪性中皮腫

問題 5 50 歳代、女性。仙骨腫瘤、捺印。

1. 骨軟骨腫
2. 骨巨細胞腫
3. 脊索腫
4. 骨肉腫
5. 類上皮血管内皮腫

問題 6 60 歳代、男性。胸部異常陰影、喀痰。

1. 食物残渣
2. 石灰化小体
3. アスベスト小体
4. クルシュマン螺旋体
5. シャルコー・ライデン結晶

問題 7 50 歳代、女性。胸部異常陰影、気管支擦過。

1. 過誤腫
2. 硬化性肺胞上皮腫
3. 腺様嚢胞癌
4. 扁平上皮癌
5. カルチノイド腫瘍

問題 8 60 歳代、男性。耳下腺腫瘍、穿刺吸引。

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺房細胞癌

問題 9 40 歳代、女性。不正性器出血、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM（頸管腺上皮）
2. NILM（エクソダス）
3. LSIL/CIN 1
4. HSIL/CIN 3
5. AIS

問題 10 30 歳代、女性。検診、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM（化生細胞）
2. NILM（ヘルペスウイルス感染）
3. LSIL/CIN 1
4. HSIL/CIN 3
5. 扁平上皮癌

問題 11 60 歳代、男性。血尿、自然尿。

1. アンブレラ細胞
2. 尿路上皮乳頭腫
3. 小細胞癌
4. 尿路上皮癌
5. 扁平上皮癌

問題 12 60 歳代、男性。咳嗽時疼痛・発熱、甲状腺、穿刺吸引。

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 乳頭癌
4. 髓様癌
5. 未分化癌

問題 13 80 歳代、女性。頸部リンパ節腫脹、穿刺吸引。

1. 壊死性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 小細胞癌
4. ホジキンリンパ腫
5. 非ホジキンリンパ腫

問題 14 70 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、エンドサイト。

1. 萎縮内膜
2. 子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌（G3）
4. 漿液性癌
5. 癌肉腫

問題 15 70 歳代、男性。肺腫瘤、捺印。

1. 器質化肺炎
2. 硬化性肺胞上皮腫
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 扁平上皮癌

問題 16 50 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、エンドサイト。

1. 萎縮内膜
2. 子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌（G3）
4. 漿液性癌
5. 癌肉腫

問題 17 40 歳代、女性。子宮腔部びらん、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM（慢性頸管炎）
2. HSIL/CIN 3
3. HPV 関連腺癌（通常型）
4. HPV 非依存性腺癌（胃型）
5. 類内膜癌（G1）

問題 18 70 歳代、女性。脳腫瘍、捺印。

1. 髄膜腫
2. 下垂体腺腫
3. 膠芽腫
4. リンパ腫
5. ジャーミノーマ

問題 19 40 歳代、女性。子宮体部腫瘍、子宮内膜、腫瘍捺印。

1. 腺筋腫
2. アデノマトイド腫瘍
3. 類内膜癌（G1）
4. 腺肉腫
5. 平滑筋肉腫

問題 20 50 歳代、女性。子宮頸癌治療後、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM（修復細胞）
2. LSIL/CIN 1
3. HSIL/CIN 3
4. 扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌（通常型）

問題 21 80 歳代、女性。不正性器出血、卵巣、腫瘤捺印。

1. 線維腫
2. 粘液性境界悪性腫瘍
3. 類内膜癌（G1）
4. 成人型顆粒膜細胞腫
5. セルトリ・ライディッヒ細胞腫

問題 22 30 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、サイトブラシ。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜癌（G1）
5. 類内膜癌（G3）

問題 23 20 歳代、女性。乳腺腫瘤、穿刺吸引。

1. 嚢胞
2. 線維腺腫
3. 乳管癌
4. 小葉癌
5. 髓様癌

問題 24 70 歳代、男性。胸部異常陰影、気管支擦過。

1. ウイルス性肺炎
2. アスペルギルス症
3. 硬化性肺胞上皮腫
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

問題 25 40 歳代、男性。膵腫瘤、EUS-FNA。

1. 副脾
2. 自己免疫性膵炎
3. 神経内分泌腫瘍
4. 腺癌
5. リンパ腫

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 報告書の保存期間は 3 年間を基本とする。
2. 細胞診専門医は常勤であることが必須である。
3. 細胞検査士の 1 日の検鏡枚数は 120 枚を上限とする。
4. 陽性例・疑陽性例判定報告は、細胞診専門医・指導医が必ずチェックする。
5. 陰性標本の 5%以上において細胞診でのダブルチェックを実施するように努める。

問題 27 検診について正しいのはどれか。

1. 対策型検診は全額自己負担である。
2. 任意型検診は公的資金を使用して行う。
3. 対策型検診は個人の死亡リスクを下げる目的で行う。
4. 任意型検診は公共的な医療サービスのひとつである。
5. 対策型検診では組織型検診（Organized screening）を行うことが理想である。

問題 28 染色法について誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|----------|---|------------|
| 1. 脂肪 | — | ズダン III 染色 |
| 2. 真菌 | — | グロコット染色 |
| 3. 抗酸菌 | — | チール・ネルゼン染色 |
| 4. アミロイド | — | オイル赤 O 染色 |
| 5. 細胞内粘液 | — | PAS 反応 |

問題 29 液状化検体細胞診法について誤っているのはどれか。

1. 遺伝子検索に不向きである。
2. 免疫染色の施行が容易である。
3. 乾燥に伴う不適正標本を減少させる。
4. 均一に塗抹された標本が作製できる。
5. 固定液に細胞を浮遊させるため細胞形態に変化が生じる。

問題 30 遺伝性腫瘍について誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|----------------------|---|------------------|
| 1. Lynch 症候群 | — | 子宮体癌 |
| 2. Cowden 症候群 | — | 乳癌 |
| 3. 家族性大腸腺腫症 | — | 常染色体潜性遺伝（劣性遺伝） |
| 4. Peutz—Jeghers 症候群 | — | STK11 遺伝子機能喪失型変異 |
| 5. 若年性ポリポーシス症候群 | — | 過誤腫性ポリープ |

問題 31 子宮頸部細胞診について正しいのはどれか。

1. 壊死性背景を認めれば悪性と判定する。
2. 妊娠 10 週目以降の妊婦に綿棒で検体採取を行う。
3. 低エストロゲン状態では、表層細胞が優位となる。
4. 閉経後の扁平一円柱上皮接合部 (SCJ) は子宮頸管外に位置する。
5. 背景の観察には、従来法より液状化細胞診 (LBC 法) が優れている。

問題 32 ASC—US について正しいのはどれか。

1. 約 10% にハイリスク HPV が検出される。
2. HPV ジェノタイプ検査が保険適応である。
3. ヘルペス感染による炎症所見は ASC—US に分類する。
4. HPV 検査が陽性のため、コルポスコピー検査を行った。
5. 精度管理の点で、全報告の 30% 程度にすることが望ましい。

問題 33 HSIL/CIN 3 について正しいのはどれか。

1. 壊死性背景が認められる。
2. 扁平一円柱上皮接合部に好発する。
3. コイロサイトーシスは認められない。
4. 核/細胞質 (N/C) 比は 60% 以下である。
5. 扁平上皮癌へ進行する割合は 5% 未満である。

問題 34 子宮内膜異型増殖症について誤っているのはどれか。

1. 30~40% が内膜癌と併存する。
2. 標準治療は単純子宮全摘術である。
3. 子宮内膜全面搔爬による診断が必要である。
4. 妊孕能温存治療では卵胞ホルモン投与を行う。
5. タモキシフェン内服により発症リスクが増加する。

問題 35 卵巢腫瘍の細胞像について正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|------------|---|---------------------|
| 1. 未熟奇形腫 | — | Hyaline globule |
| 2. 卵黄囊腫瘍 | — | Schiller—Duval body |
| 3. 卵巢甲状腺腫 | — | Call—Exner body |
| 4. 顆粒膜細胞腫 | — | Psammoma body |
| 5. 未分化胚細胞腫 | — | Hobnail cell |

問題 36 絨毛性疾患について正しいのはどれか。

1. 全胞状奇胎は雄核発生である。
2. 絨毛癌には絨毛成分が認められる。
3. 侵入胞状奇胎の診断は細胞診で可能である。
4. 胞状奇胎は妊娠 3000 例に 1 例程度発生する。
5. 水腫様流産では栄養膜細胞の異常増殖が認められる。

問題 37 呼吸器検体について誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|---------------|---|-------------|
| 1. 気管支喘息 | — | クルシュマン螺旋体 |
| 2. 抗酸菌感染症 | — | ラングハンス型巨細胞 |
| 3. クリプトコッカス症 | — | PAS 陽性の太い菌糸 |
| 4. ヘルペスウイルス感染 | — | 好塩基性の核内封入体 |
| 5. ニューモシスチス肺炎 | — | グロコット染色陽性 |

問題 38 喀痰細胞診について誤っているのはどれか。

1. 早朝起床時の喀痰を採取する。
2. A 判定の場合は再検査を行う。
3. 塗抹後は十分乾燥させてから固定する。
4. 正常上皮細胞のみの場合は B 判定である。
5. 喀痰が検査に耐えうる時間は室温では 12 時間以内である。

問題 39 肺癌の細胞所見で誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|-------------|---|------------|
| 1. 腺癌 | — | ごま塩状核クロマチン |
| 2. 小細胞癌 | — | 木目込み様配列 |
| 3. 大細胞癌 | — | 著明な核小体 |
| 4. 扁平上皮癌 | — | 異常角化細胞 |
| 5. カルチノイド腫瘍 | — | ロゼット様配列 |

問題 40 デコイ細胞の細胞像について誤っているのはどれか。

1. 壊死性背景
2. 平滑な核縁
3. 核内細胞質封入体
4. N/C 比大の大型異型細胞
5. 腎移植後患者の BK ウイルス感染と関連する

問題 41 泌尿器細胞診報告様式に基づく診断カテゴリーに含まれないものはどれか。

1. 陰性
2. 良性
3. 悪性
4. 不適正
5. 悪性疑い

問題 42 胆汁細胞診で悪性の判定に有用でない所見はどれか。

1. 不規則な重積
2. 核の配列不整
3. クロマチンの不均等分布
4. 細胞集塊辺縁の凹凸不整
5. 細胞集塊辺縁周囲の細胞質の存在

問題 43 乳腺の筋上皮マーカーとして適切でないものはどれか。

1. p63
2. CD10
3. α -SMA
4. calponin
5. GCDFP15

問題 44 体腔液細胞診検体について正しいのはどれか。

1. Hump 様細胞突起は腺癌の特徴である。
2. 悪性中皮腫細胞は長い微絨毛が特徴的である。
3. 反応性中皮細胞は高度の重積を伴う集塊で認められる。
4. 腹水中の腺癌は細胞間に“窓 window”を形成するのが特徴である。
5. 腺癌細胞のアルシアンブルー染色陽性物質はヒアルロニダーゼ処理で消失する。

問題 45 膠芽腫の診断に重要ではない所見はどれか。

1. 壊死
2. 核分裂像
3. 核内封入体
4. 高い細胞密度
5. 微小血管増生

選択問題 A

問題 46 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. 肥満はリスク因子である。
2. 子宮頸癌の約 50%を占める。
3. HPV18 型が最も多く検出される。
4. 扁平上皮癌より放射線感受性が高い。
5. HPV 非依存性腺癌は HPV 関連腺癌より予後良好である。

問題 47 子宮内膜細胞診について正しいのはどれか。

1. 約 10%に偽陰性が認められる。
2. 分泌期内膜では核分裂像が目立つ。
3. 判定はベセスダシステムに準拠する。
4. 対策型検診の有効性が証明されている。
5. 類内膜癌 G1 は G3 に比べ細胞間の結合性が弱い。

問題 48 子宮内膜漿液性癌について正しいのはどれか。

1. 閉経前に好発する。
2. 子宮外への進展は少ない。
3. 類内膜癌 G1/G2 に比して予後不良である。
4. 漿液性卵管上皮内癌 (STIC) を由来とする。
5. 分子遺伝学的分類で *POLE*—ultramutated に分類される。

問題 49 卵巣明細胞癌について正しいのはどれか。

1. 化学療法への感受性が高い。
2. 子宮内膜症を背景に発生する。
3. 欧米に比して、アジアでの頻度は低い。
4. *ARID1A* 遺伝子の変異が約 15%に認められる。
5. 本邦では卵巣上皮性悪性腫瘍の約 40%を占める。

問題 50 婦人科腫瘍における腫瘍マーカーについて誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|-------------------|---|-------|
| 1. 絨毛癌 | — | hCG |
| 2. 卵管癌 (高異型度漿液性癌) | — | CA125 |
| 3. 子宮頸癌 (腺癌) | — | CEA |
| 4. 子宮頸癌 (扁平上皮癌) | — | SCC |
| 5. 子宮内膜癌 (類内膜癌) | — | AFP |

選択問題 B

問題 51 胸膜の悪性中皮腫細胞で陽性率が高いマーカーはどれか。

1. CEA
2. TTF-1
3. Napsin A
4. Claudin 4
5. Calretinin

問題 52 精巣胚細胞性腫瘍と免疫組織化学陽性所見について誤っている組み合わせはどれか。

- | | | |
|----------|---|-------------|
| 1. 奇形腫 | — | PLAP |
| 2. 絨毛癌 | — | β hCG |
| 3. 胎児性癌 | — | CD30 |
| 4. セミノーマ | — | KIT (CD117) |
| 5. 卵黄嚢腫瘍 | — | AFP |

問題 53 正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|----------------|---|-------------|
| 1. 肝細胞癌 | — | 粘液性背景 |
| 2. 胃リンパ球浸潤癌 | — | CMV 感染 |
| 3. 胃 MALT リンパ腫 | — | T 細胞 |
| 4. 1 型自己免疫性膵炎 | — | IgG4 陽性形質細胞 |
| 5. 充実性偽乳頭状腫瘍 | — | チモーゲン顆粒 |

問題 54 甲状腺病変の細胞像として正しい組み合わせはどれか。

- | | | |
|------------|---|----------|
| 1. 橋本病 | — | 壊死性背景 |
| 2. 髄様癌 | — | リンパ球背景 |
| 3. 乳頭癌 | — | ローピーコロイド |
| 4. 未分化癌 | — | 核内細胞質封入体 |
| 5. 腺腫様甲状腺腫 | — | アミロイド物質 |

問題 55 脳腫瘍の遺伝子変異について適切でない組み合わせはどれか。

- | | | |
|-------------|---|-------------------|
| 1. 膠芽腫 | — | <i>IDH1/2</i> |
| 2. 乏突起膠腫 | — | <i>EWSR1-FLI1</i> |
| 3. びまん性正中膠腫 | — | <i>H3 K27M</i> |
| 4. 毛細胞性星細胞腫 | — | <i>BRAF-KIAA</i> |
| 5. 孤立性線維性腫瘍 | — | <i>NAB2-STAT6</i> |

選択問題 C

問題 56 口腔上皮性異形成にみられる構造異型で誤っているのはどれか。

1. 異常核分裂像
2. 細胞間結合の減弱
3. 滴状型の上皮突起
4. 上皮の不規則な重層
5. 上皮突起内における角化

問題 57 軟組織に発生する歯源性嚢胞はどれか。

1. 歯根嚢胞
2. 歯肉嚢胞
3. 類皮嚢胞
4. 含歯性嚢胞
5. リンパ上皮性嚢胞

問題 58 HIV 関連口腔粘膜疾患はどれか。

1. 乳頭腫
2. 類天疱瘡
3. ハンター舌炎
4. 粘膜下線維症
5. 口腔カンジダ症

問題 59 以下の組み合わせで誤っているのはどれか。

- | | | |
|----------------|---|------------|
| 1. 多形腺腫 | — | 間質性粘液 |
| 2. 粘表皮癌 | — | 癌真珠 |
| 3. 腺様嚢胞癌 | — | 粘液球 |
| 4. 粘液貯留嚢胞 | — | 泡沫状マクロファージ |
| 5. IgG4 関連唾液腺炎 | — | リンパ球 |

問題 60 唾液腺に原発するリンパ腫で最も多いのはどれか。

1. MALT リンパ腫
2. 濾胞性リンパ腫
3. バーキットリンパ腫
4. 成人 T 細胞白血病／リンパ腫
5. びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫

<検鏡問題>

総合科

【総合科1】 40歳代・女性 子宮腔部びらん 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（濾胞性頸管炎）
2. NILM（カンジダ感染）
3. NILM（トリコモナス感染）
4. HSIL/CIN3
5. 扁平上皮癌

【総合科2】 30歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトピック

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（修復細胞）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌（通常型）

【総合科3】 40歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトピック

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌（通常型）

【総合科4】 40歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（頸管腺細胞）
2. HSIL/CIN3
3. AIS（上皮内腺癌）
4. 扁平上皮癌
5. HPV非依存性腺癌（粘液型）

【総合科5】 30歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（頸管腺細胞）
2. HSIL/CIN3
3. 扁平上皮癌
4. HPV関連腺癌（通常型）
5. 神経内分泌癌（小細胞型）

【総合科6】 40歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 吸引

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜異型増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 漿液性癌

【総合科7】 60歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 吸引

問題13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題14 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 分泌期内膜
2. 子宮内膜増殖症
3. 類内膜癌 G1
4. 明細胞癌
5. 未分化癌

【総合科8】 50歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜腫瘍捺印

問題15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題16 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 内膜ポリープ
2. 類内膜癌 G1
3. 未分化癌
4. 癌肉腫
5. 悪性リンパ腫

【総合科9】 40歳代・女性 卵巣腫瘍 捺印

問題17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題18 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 子宮内膜症性嚢胞
2. 粘液性境界悪性腫瘍
3. 類内膜癌 G1
4. 高異型度漿液性癌
5. 成人型顆粒膜細胞腫

【総合科10】 60歳代・女性 外陰部発赤 外陰部 サイトブラシ

問題19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題20 推定診断として最も適切なものはどれか

1. ヘルペス感染
2. LSIL/VIN1
3. 扁平上皮癌
4. 乳房外 Paget 病
5. 悪性黒色腫

【総合科11】 60歳代・男性 咳嗽 喀痰

問題21 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題22 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 真菌性肺炎
2. 硬化性肺胞上皮腫
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. リンパ腫

【総合科12】 70歳代・男性 胸部異常陰影 気管支洗浄

問題23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題24 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 細菌性肺炎
2. ウイルス性肺炎
3. 腺癌
4. 扁平上皮癌
5. 小細胞癌

【総合科 1 3】 50 歳代・女性 肺腫瘍 捺印

問題 2 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 器質化肺炎
2. 硬化性肺胞上皮腫
3. カルチノイド腫瘍
4. 腺癌
5. 小細胞癌

【総合科 1 4】 30 歳代・男性 精巣腫瘍 捺印

問題 2 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 精巣炎
2. 血管腫
3. 奇形腫
4. 絨毛癌
5. セミノーマ

【総合科 1 5】 80 歳代・女性 黄疸 胆管擦過

問題 2 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 0 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 胆管炎
2. 腺腫
3. 腺癌
4. 神経内分泌腫瘍
5. リンパ腫

【総合科 1 6】 50 歳代・女性 乳房腫瘍 穿刺吸引

問題 3 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 嚢胞
2. 線維腺腫
3. 小葉癌
4. 乳管癌
5. 悪性葉状腫瘍

【総合科 1 7】 70 歳代・女性 甲状腺腫瘍 穿刺吸引

問題 3 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 乳頭癌
4. 髄様癌
5. 未分化癌

【総合科 1 8】 60 歳代・男性 耳下部腫瘍 穿刺吸引

問題 3 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

【総合科19】 50歳代 男性 縦隔リンパ節腫脹 リンパ節生検捺印

問題37 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題38 推定診断として最も適切なものはどれか

1. サルコイドーシス
2. リンパ濾胞過形成
3. 小細胞癌の転移
4. ホジキンリンパ腫
5. バーキットリンパ腫

【総合科20】 70歳代・男性 腹水 穿刺

問題39 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題40 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性中皮
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. リンパ腫
5. 悪性中皮腫

歯科

【歯科1】 60歳代・女性 舌白斑 ブラシ(LBC)

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科2】 70歳代・女性 歯肉潰瘍 ブラシ(LBC)

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科3】 70歳代・女性 歯肉水疱 ブラシ

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（単純疱疹）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科4】 40歳代・男性 舌縁部白斑 ブラシ

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科5】 50歳代・女性 舌背正中中部赤色病変 ブラシ(LBC)

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（正中菱形舌炎）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科6】 30歳代・女性 顎骨腫脹 穿刺吸引

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 顎骨骨髓炎
2. 歯原性角化嚢胞
3. エナメル上皮腫
4. 歯原性粘液腫
5. 扁平上皮癌

【歯科7】 70歳代・男性 上顎臼歯部口蓋側歯肉潰瘍 ブラシ

問題13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題14 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（扁平苔癬）
2. OLSIL（軽度異形成）
3. SCC（扁平上皮癌）
4. 腺様嚢胞癌
5. リンパ腫

【歯科8】 30歳代・男性 口蓋腫瘍 捺印

問題15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題16 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. 粘表皮癌
3. 扁平上皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺房細胞癌

【歯科9】 50歳代・男性 顎下部腫脹 穿刺吸引

問題17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題18 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 膿瘍
2. 類皮嚢胞
3. ワルチン腫瘍
4. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
5. リンパ腫

【歯科10】 50歳代・男性 顎下リンパ節腫脹 穿刺吸引

問題19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題20 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. リンパ腫

【歯科 1 1】 70 歳代・男性 側頸部腫脹 穿刺吸引

問題 2 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 膿瘍
2. リンパ上皮性嚢胞
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 腺様嚢胞癌
5. リンパ腫

【歯科 1 2】 70 歳代・男性 頸部腫瘤 穿刺吸引

問題 2 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 類皮嚢胞
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 転移性腫瘍（悪性黒色腫）
5. リンパ腫